



就学に向けて、もう一度確認をしましょう

同時に配布した資料『家庭で経験させたい10の大切なこと』について、いくつか抜粋いたしました。就学へ向けて、夏の生活に移る際に改めて確認していただければと思います。

食べること

箸の持ち方、食事中の姿勢やマナーなど、ご家庭ではいかがでしょうか？園では食器に手を添えることや、椅子の座り方など、一人一人の様子に合わせて指導しています。食事を楽しむ中で、身に付けてほしいと思っています。

自分のことは自分で

- ・ご家庭では、身支度や片付けなどを自分でしていますか？「自分で自分のことができる」ということは、自信をもつことにつながります。思わず手伝いたくなることもあるかもしれませんが、お子さんが自分でできる喜びを感じられるように、温かく見守り、ときには方法を教えながら励ましたり、自分からしようとしているところを褒めたりしていただければと思います。
- ・トイレで大便をしたとき、自分でお尻が拭けますか？自分でできない場合は練習しておきましょう。また、個室に入るときはドアをしめる、立って用を足すときにお尻は出さないなどのことも習慣にしていきましょう。

体を動かす楽しさ

- ・おうちの方と一緒に触れ合いながら、体を動かすことを楽しみましょう。
 - ・逆さになること、回ることなどが、幼児期にたくさん経験できるとよいと思います。鉄棒や親子のふれあい遊びなど、逆さになったり回ったりして、幼児期に三半規管を揺さぶる経験をすることで、鉄棒で逆さになることを怖がらなくなったりバランス感覚が養われたりします。
- * 全身を大きく動かす体験は、指先を動かす動きにもつながります。

自分で考えて行動する

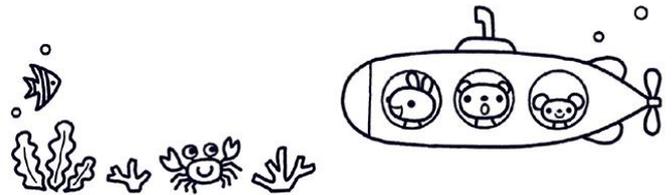
自分で考え、自分で決めて行動したことが、おうちの方に認められると、自信につながっていきます。思うようにいかないことや失敗してしまうこともあるかもしれませんが、それでも「自分で考える」「自分で決める」ということを大切に、その行動を認めることで主体性が育ちます。もし、失敗したときや、どうしても大人が教えなければならないような場面も、まずは“自分で考えて行動した”ということをやさとして受け止めてください。うまくいかないことも子どもが自分で受け止め、さらに考えて行動していけるように見守ったり支えたりしていきましょう。これから成長していく子どもたちにとって、主体的に行動することはとても重要です。それが自分で困難を乗り越える意欲につながります。

規則正しい生活

幼児は 10～11 時間の睡眠が必要とされています。睡眠不足になると、集中力が続かない、我慢ができないなどの姿につながっていきます。寝る時間や起きる時間を決め、規則正しい生活を心がけましょう。

時間を意識する

- ・食事は、必要な量を20分程度で食べられるようにしておく、小学校入学後の給食もスムーズです。
- ・遊んだ後の片付けは、始める時間よりも終わる時間を意識できるように言葉掛けをしていくと、時間に間に合わせようと意識するようになっていきます。



<連絡①>

16日(火)に、『なつとあそぼう』という既製のカレンダーと、『なつのおもいで』という用紙を配布しました。

- ・『なつとあそぼう』(既製)…ご家庭でお楽しみください。提出の必要はありません。
- ・『なつのおもいで』(用紙)…お子さんと一緒に作成してください。9月2日(月)に提出をお願いします。名前欄は裏面にあります。
※学級で紹介、掲示する予定です。

<連絡②>

年長児は、夏休み前に園内の絵本は借りません。ぜひ、お子さんと一緒に地域の図書館に足を運んでみてください。

<連絡③>

玄関ホワイトボードに、『就学・転学相談のご案内』の資料を掲示しました。相談をお考えの方は、資料をお渡ししますので、連絡帳でお知らせください。

<連絡④>

こども園では、敬老の日になんで、祖父母の皆様に手紙をお送りしたいと思います。つきましては、9月2日(月)に園から配ります封筒に、ご家庭で宛先・宛名を記入し、必要な金額の切手を貼ってください。お子さんと、どなたに手紙を出すかを話して決めておいてください。(園で出す手紙は1通です)

今年の夏も暑くなりそうですね。家庭で過ごす子、園に来る子、それぞれの毎日が、健康で楽しい日々となりますよう願っています。

4月から約4ヵ月間、こども園の教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。9月にまた、元気な笑顔でみんなが集まることを楽しみにしています!!

